

SDGs とは？



目標 14 海の豊かさを守ろう

“海の資源を守り、大切に使う”

私たちが使っているペットボトルやビニール袋などのプラスチックゴミが年間 800 万トン、海に流れ出ています。

出典：UNEP ホームページ “Our planet is drowning in plastic pollution”



SDGs (Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつづやき 45

人柄に目を向けると、その人らしさが見えてくる



私は、毎日認知症の方と一緒に生活を共にしています。その中で、たとえ認知症になったとしても、お一人お一人の人間性や個性は失われないといつも感じています。スポーツが好きな方は熱中して相撲や高校野球の応援をします。家事が得意な方は綺麗に洗濯を干し料理の手伝いをしてくださいます。ゆかいなジョークも飛び出すし、優しいねぎらいの言葉も聞かれます。悲しいニュースが流れると涙を流し戦争体験をお話ししてくださいます。

私は認知症という病気に目を向けるのではなく、その方にどのようにかわっていくかを中心に考えるようにしています。専門職に求められることは、生活での困りごとだけではなく、目の前の人がどのような人なのか、また人柄や人間性を分析して、この人はこんな言葉をかけると元気になるとか、このように働きかけると前向きになれるなど、その人の特性を活かす関わりを考えることだと思います。私の生活の中で、いつも励まして見守ってくれているのは、人として温かい魅力のある認知症の先輩方です。お風呂介助している時に「腰いたくねーか？大丈夫かー？体大事にしるよ！」こんな言葉をかけられると元気になる私がいま。日々先輩方から学んでいます。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

●地域包括支援センター ☎68-8941

●複合施設 響 ☎61-8500

●利根町保健福祉センター ☎68-8291

●介護老人保健施設もえぎ野 ☎84-6081



男女共同参画ってなあに？ Part 97

ポジティブ・アクションとは？



日本における女性の参画は徐々に増加しているものの、他の先進国に比べ低い水準です。

●衆議院の女性議員比率

国名	順位	女性議員の比率	クォーター制の状況
スウェーデン	7	47.0%	政党による自発的なクォーター制
イギリス	39	33.9%	政党による自発的なクォーター制
アメリカ	67	27.3%	—
韓国	121	19.0%	法的候補者クォーター制
日本	166	9.9%	—

出典：列国議会同盟（2021 年 1 月時点）下院又は一院制議会における女性議員割合

●就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合

国名	就業者	管理的職業従事者
アメリカ	46.8%	41.1%
スウェーデン	47.5%	40.2%
イギリス	47.3%	36.8%
韓国	43.0%	15.7%
日本	44.5%	13.3%

出典：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和 2 年）ILO “ILOSTAT” より

男女格差の解消や女性の活躍推進に向けて、自主的かつ積極的な取り組みを行うことをポジティブ・アクションといいます。例えば、政治分野においては、議席の男女間格差を是正するため、女性に対して割り当てを行う、クォーター制というものがあります。また、企業などにおいては、管理職の数などの男女の差を解消するため、女性が活躍できる場を創出するなど自主的な取り組みを行っています。しかしながら、日本の企業においては、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な男女の役割分担意識や、「重要なポストは男性、女性はサポート職」などといった過去の経緯などから、社内の重要な役職に就かせないような風土が残っている場合があります。

女性をはじめとする多様な人々が政治分野により関わることは、民主主義の根幹でもあります。

また、民間企業などにおいて多様な人材を活用することは、組織の活性化や競争力の強化などに寄与する効果があります。経済産業省 男女共同参画研究会の報告では「女性登用で会社は伸びる」「女性を活用する企業は業績が上がる」という結果が出ています。

問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211（内線 337）



福祉コラム ～広げよう心のバリアフリー～ Vol. 5

「わたしにはどんなことが出来るのか」を考えてみましょう。

私たちが住む町には高齢者や外国の人、妊娠している人、介助している人、赤ちゃん連れの人などさまざまな人がいます。みんなが笑顔で暮らすためには、お互いのことを知ることから始まります。障害のある人についてもそうです。まずはよく知って、「わたしにはどんなことが出来るのか」を考えてみましょう。

【知的障害】 脳の発達が遅れているため、日常生活で困難なことがあります。

- ・障害が重い場合は、付き添う人が必要なときもあります。
- ・早口や複雑な会話の理解が困難です。
- ・読み書きや計算が苦手な人がいます。

○接し方 子どもあつかいするのではなく、本人の年齢にふさわしい接し方が適切です。

- ・会話をするときは、やさしく、ゆっくり、ていねいに話す。
- ・短い文章（言葉）や絵、図などを使って、わかりやすく伝える。 など

日頃からの気遣いがとても大切になります。



問い合わせ先 福祉課 社会福祉係 ☎68-2211（内線 128）